

会社説明会資料

平成24年7月2日
株式会社 学究社
(証券コード:9769)

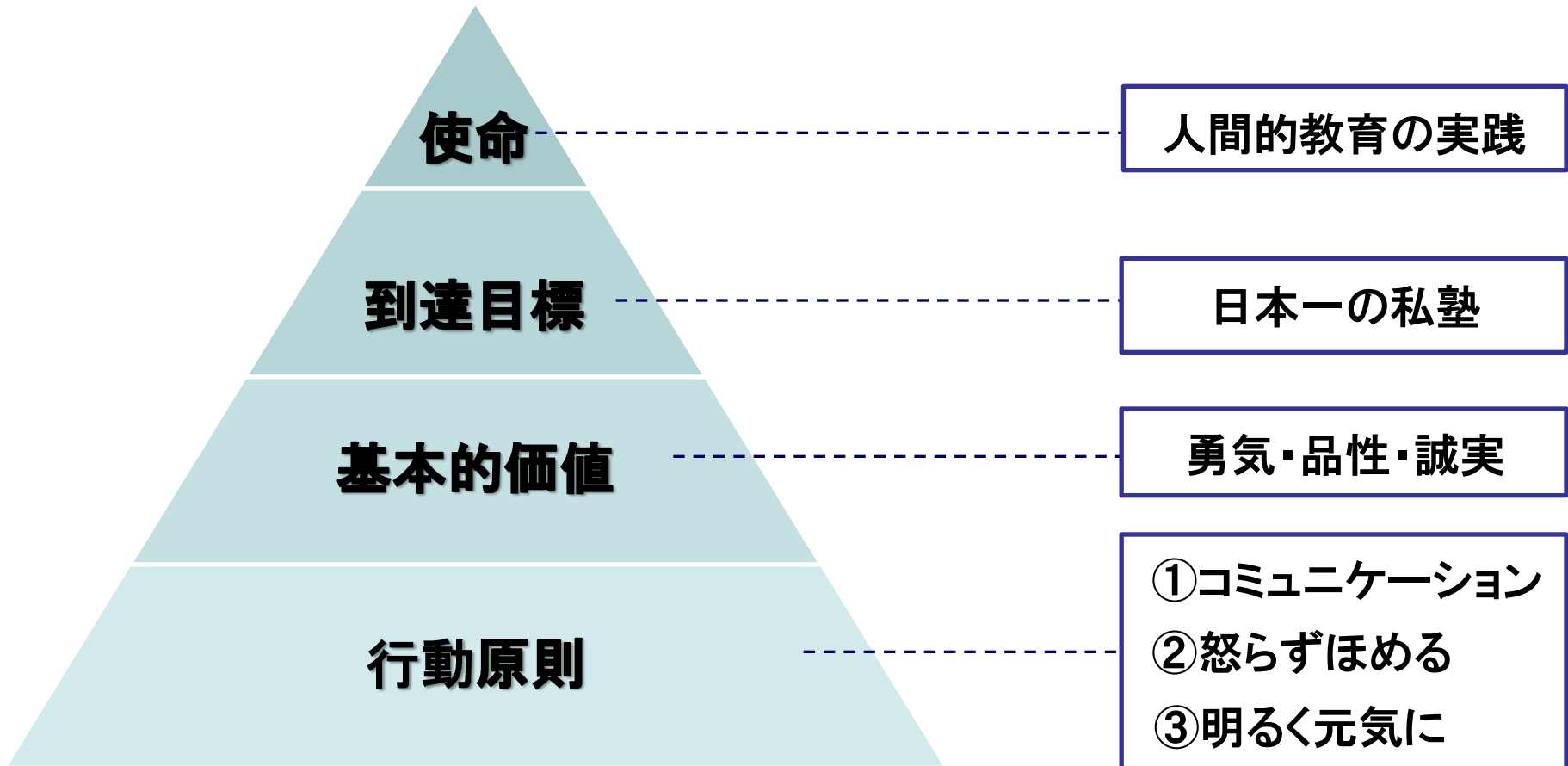
I . 会社概要	P.3
II . 事業紹介	P.7
III . 決算概要	P.14
IV . 今後の展開	P.20

I . 会社概要

- 商号 株式会社学究社
- 本店 東京都国立市東1-4
- 本店事務所 東京都新宿区西新宿2-7-1
小田急第一生命ビル22階
- 代表者 取締役 兼 代表執行役社長 河端真一
- 創立 昭和47年9月
- 事業内容 進学塾「ena」「マイスクールena」等の運営
(中学・高校・大学受験の学習指導)
- 資本金 806百万円(平成24年3月末)
- 主要な子会社 株式会社インターエデュ・ドットコム
(受験・教育関連のポータルサイト運営)
GAKKYUSHA U.S.A. CO.,LTD.
(米国内及びカナダ・香港・シンガポールにおける「ena」の運営と日本国内での帰国教育)
- 従業員数 212名(単体)、356名(連結)(平成24年3月)

昭和51年10月	昭和47年9月創立の国立学院を母体として株式会社学究社を国立市中一丁目10番地2号に設立(資本金500万円)。
昭和52年 2月	国立学院を国立学院予備校と改称。
昭和53年 1月	業容の拡大に伴い、本社を国立市東一丁目4番地へ移転。
昭和60年12月	社団法人日本証券業協会に店頭登録銘柄として登録。(現 大証JASDAQ に上場)
昭和61年 6月	三菱信託銀行株式会社他7社との合併会社、衛星教育ステーション株式会社設立。
昭和62年 2月	ニューヨークに現地法人 GAKKYUSHA U.S.A.CO.,LTD. 設立。
平成 8年12月	校舎の名称を「ena」に統一。
平成10年 3月	個別指導塾「マイスクールena」を新設。
平成12年 2月	衛星教育ステーション株式会社の商号を株式会社インターエデュ・ドットコムに変更、あわせて会社の目的をインターネットによる受験、教育関連情報提供等に変更。
平成14年 6月	本社機能を東京都新宿区西新宿に移管。
平成15年 6月	委員会等設置会社に移行。
平成20年 1月	株式会社進学舎全株式を取得。
平成24年 4月	株式会社進学舎を吸収合併。 新宿セミナー及び新宿美術学院の事業を譲受け。
平成24年 6月	有限会社アサヒ進学指導センターの教育事業を譲受け。

■学究社グループ経営理念



Ⅱ．事業紹介

ブランド紹介①



小中学部・大学受験部

「知的好奇心」の向上を通して21世紀社会にふさわしい人間教育・人格教育を実践。

110校舎



難関中学、難関高校の合格をターゲットにした、選抜型の塾です。

2校舎



独自のメソッドを活用し、学期や学年にとらわれずにオリジナル教材での指導を行っています。

1校舎

個別指導



一人ひとりの生徒の学力に合わせた個別指導型の塾です。

32校舎



本気なら家庭教師

アサヒ
進学指導
センター

学究社の家庭教師部門です。

看護医療系受験

新宿セミナー

看護医療系受験指導を行います。

6校舎

芸大・美大受験総合予備校

新宿美術学院

芸大・美大受験指導を行います。

1校舎

清里自然学校

八ヶ岳の大自然に囲まれた合宿施設。週末を利用した集中合宿、夏期など長期休暇中に合宿を実施。

ena 国際部

海外赴任者の子女を中心に、帰国後の受験対策指導を行います。

● GAKKYUSHA
U.S.A. CO., LTD.

米国内での「ena」の運営、子会社を通じたカナダ・香港・シンガポールにおける「ena」の運営と日本国内での帰国教育を行います。

inter-edu.

入試、学校、教育情報を配信する、中立的な受験情報のポータルサイト。

校舎・授業風景

[校舎外観]



[校舎内の様子]



[授業風景]



1. 都立中高一貫校、都立難関高校の対策塾へ他塾に先駆けシフトチェンジ

- ・都立復権、コストパフォーマンスにより、都立中高一貫校、都立難関高校の人気の高まることを予期し、この新しい市場への対応を中心とする進学塾へ他塾に先駆けてシフトチェンジ。
- ・他塾では、私立中高一貫校、名門私立大学付属中高という従来からの市場への対応を中心としているため、この新しい市場において、他塾を大きく引き離している。

2. 都立中高一貫校受検における抜群の合格実績

- ・2012年度入試において、全都立中高一貫校11校(含区立九段中)に401名合格し、合格者数実績No.1を獲得することができた。
- ・南多摩中、立川国際中、三鷹中、武蔵高附属中、大泉高附属中の5校において、合格者数実績No.1を獲得することができた。

3. 都立難関高校受験における高い合格実績

- ・2012年度入試において、308名の合格実績を出すことができた。
- ・国立高、国分寺高、立川高の3校において、合格者数実績No.1を獲得することができた。

合格実績

全都立中11校合計で1位を獲得

都立南多摩中	94名	(占有率59%)
都立立川国際中	83名	(占有率57%)
都立三鷹中	80名	(占有率50%)
都立武蔵高附属中	56名	(占有率47%)
都立大泉高附属中	37名	(占有率31%)
都立富士高附属中・都立小石川中・ 都立桜修館中・都立白鷗高附属中・ 都立両国高附属中・区立九段中	51名	

都立難関高校

都立国立高	72名	(占有率23%)
都立国分寺高	72名	(占有率23%)
都立立川高	65名	(占有率21%)
都立八王子東	52名	(占有率16%)
都立西高	30名	(占有率9%)
都立戸山高	10名	
都立日比谷高	7名	

合計：
401名

シェア約25%
(多摩地区では約50%)

合計：
308名

- 日本最大級の教育・受験サイト
- アクセス数は5,060万PV/月、利用者は171万人/月(平成24年2・3月実績)
- 登録なしで自由に書き込める掲示板がメインサービス
- 収益源は学習塾・学校、保護者をターゲットとするサービス・商品を提供する企業からの広告収入

The screenshot displays the Inter-edu website interface. At the top, there's a navigation bar with links like '掲示板' (Bulletin Board), '教育ニュース' (Education News), '学校ブログ' (School Blogs), and '塾ブログ' (Juku Blogs). The main content area is divided into several sections:

- おすすめサイト** (Recommended Sites): A list of featured websites and resources.
- リリース情報** (Release Information): Updates and news related to the platform.
- トピックス** (Topics): Current topics and featured content.
- みんなで作ろう 塾マップ** (Let's make it together: Juku Map): A section for users to contribute to a map of juku locations.
- 教育ニュース** (Education News): A list of recent news articles with timestamps.
- 注目校! 新着記事一覧** (Featured Schools! New Article List): A list of featured schools and their latest articles.

On the right side, there's a prominent blue box for **小3～6年生 入塾受付中** (3rd to 6th grade students, enrollment open), and another section for **おすすめ学校特集** (Recommended School Special).

Ⅲ. 決算概要

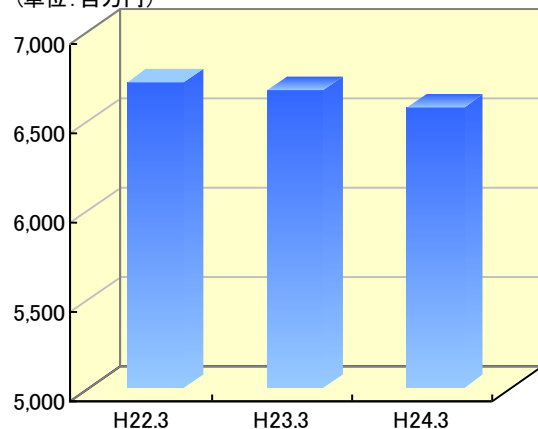
前期決算概要

(単位: 百万円)

	H22年3月期	H23年3月期	H24年3月期	前期比増減
売上高	6,728	6,679	6,584	-1.4%
営業総利益	1,892	1,868	1,814	-2.9%
販売費及び一般管理費	1,262	1,254	1,278	2.0%
営業利益	630	614	535	-12.8%
経常利益	652	612	542	-11.5%
当期純利益	294	170	184	8.2%

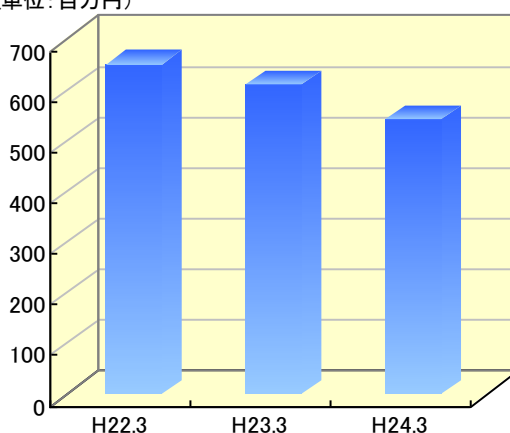
売上高

(単位: 百万円)



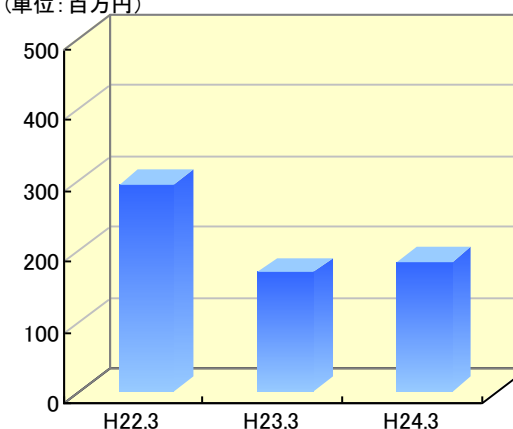
経常利益

(単位: 百万円)



当期純利益

(単位: 百万円)



貸借対照表及びキャッシュ・フロー

(単位:百万円)

貸借対照表	H22.3	H23.3	H24.3	前年比
流動資産	1,209	756	1,179	156.0%
固定資産(有形固定資産)	1,922	2,096	2,210	105.4%
(無形固定資産)	398	354	305	86.2%
(投資その他の資産)	925	877	825	94.1%
資産合計	4,455	4,084	4,521	110.7%
流動負債	1,494	1,194	1,563	130.9%
固定負債	425	359	461	128.4%
負債合計	1,920	1,554	2,025	130.3%
資本金	806	806	806	100.0%
資本剰余金	1,243	1,243	1,243	100.0%
利益剰余金	927	925	892	96.4%
自己株式	△ 423	△ 423	△ 423	100.0%
為替換算調整勘定	△ 67	△ 75	△ 86	114.7%
少数株主持分	46	53	62	117.0%
純資産合計	2,535	2,530	2,496	98.7%
負債純資産合計	4,455	4,084	4,521	110.7%

(単位:百万円)

キャッシュ・フロー	H22.3	H23.3	H24.3
営業活動によるキャッシュ・フロー	723	410	564
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 149	△ 560	△ 377
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 333	△ 310	313
現金及び現金同等物の期末残高	884	421	920

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税前利益は減少したものの、営業債務の増加や前受金の増加等により前期比154百万円増加

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

設備投資は前期並み水準(367百万円)。無形固定資産取得に係る支出の減少により、183百万円改善

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長短借入金の増加により623百万円増加

- 「ena」、「マイスクールena」はブランドの浸透、高い合格実績を受け、着実に生徒数を伸ばし順調に推移
 - 期中に「ena」17校舎、「マイスクールena」を2校舎開校。順調に生徒を獲得しているが、12月～2月に開校時期が集中しており、前期の収益貢献には至らず。これらが通期寄与する今期に期待。
 - 進学舎は苦戦しており、「ena」への転換を推進（平成24年4月当社に吸収合併）
 - 海外事業は、景気低迷を受け日本に引き上げる駐在員が増えていることから、苦戦を余儀なくされている。
 - インターエデュ・ドットコムは、着実にPVを伸ばしており、媒体価値を向上させている。
- 売上高248百万円(+35%)、経常利益65百万円(+52%)

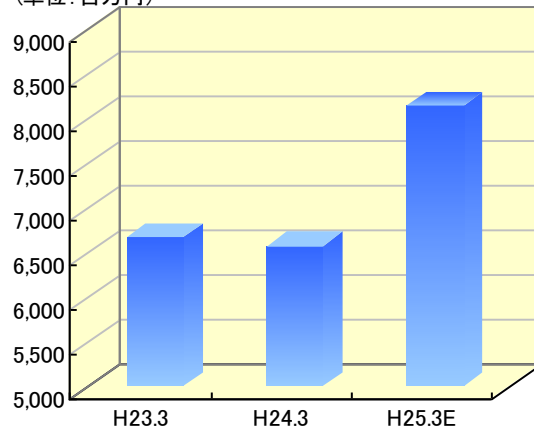
今期計画

(単位: 百万円)

	H24年3月期 (実績)	H25年3月期 (計画)	前期比増減
売上高	6,584	8,160	23.9%
営業利益	535	922	72.1%
経常利益	542	922	70.1%
当期純利益	184	500	171.0%

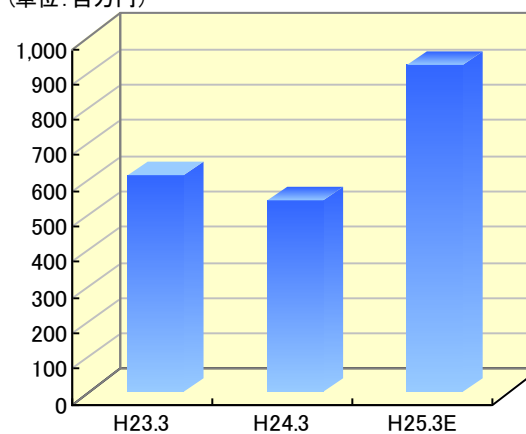
売上高

(単位: 百万円)



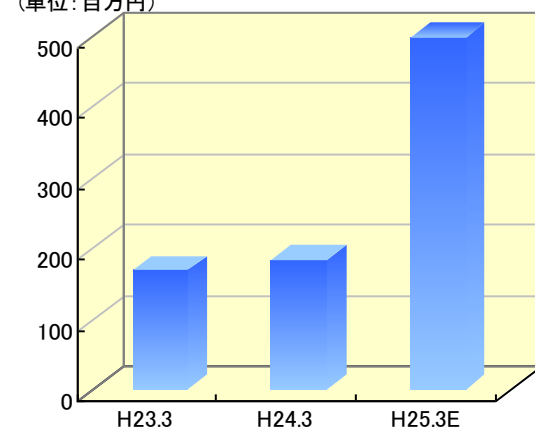
経常利益

(単位: 百万円)



当期純利益

(単位: 百万円)



今期見通しについて

- 「ena」「マイスクールena」は、前期開校した校舎の多くが、今期の増収増益に貢献。今期も引き続き15～20校の開校を目指す。

6月30日 西立川、上石神井、高円寺の各校を開校

- 4月に営業権を譲受けた「新宿セミナー」、「新宿美術学院」、さらに6月に営業権を譲受けた「アサヒ進学指導センター」が今期寄与。

<売上高実績>

新宿セミナー 769百万円 (平成23年12月期)

新宿美術学院 496百万円 (平成23年12月期)

アサヒ進学指導センター 107百万円 (平成23年3月期)

- インターエデュ・ドットコムは引き続き拡大を見込む。

以上により、売上高23.9%増収、経常70.1%増益の達成を目指す。

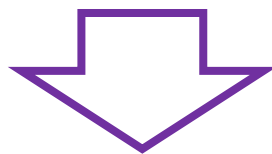
IV. 今後の展開

1. 少子高齢化による教育関連市場の縮小

当社が進学塾を展開する東京都内及び近郊では、人口流入による学齢人口の増加が続いており、さらに少子化傾向により、子供1人当たりの教育費は増加傾向にある。このため、当社事業においては、少子高齢化は当面の脅威となっていない。

2. 不況による教育費支出への影響

各世帯において、私立中学・高校への進学という投資が卒業後の進路にどのような成果をもたらすかという視線が厳しくなる中、都立中高一貫校及び都立難関高校の人気の高まっている。当社は他塾より早く、都立中・高入試の対策に取り組んでおり、高い合格シェアを誇っている。

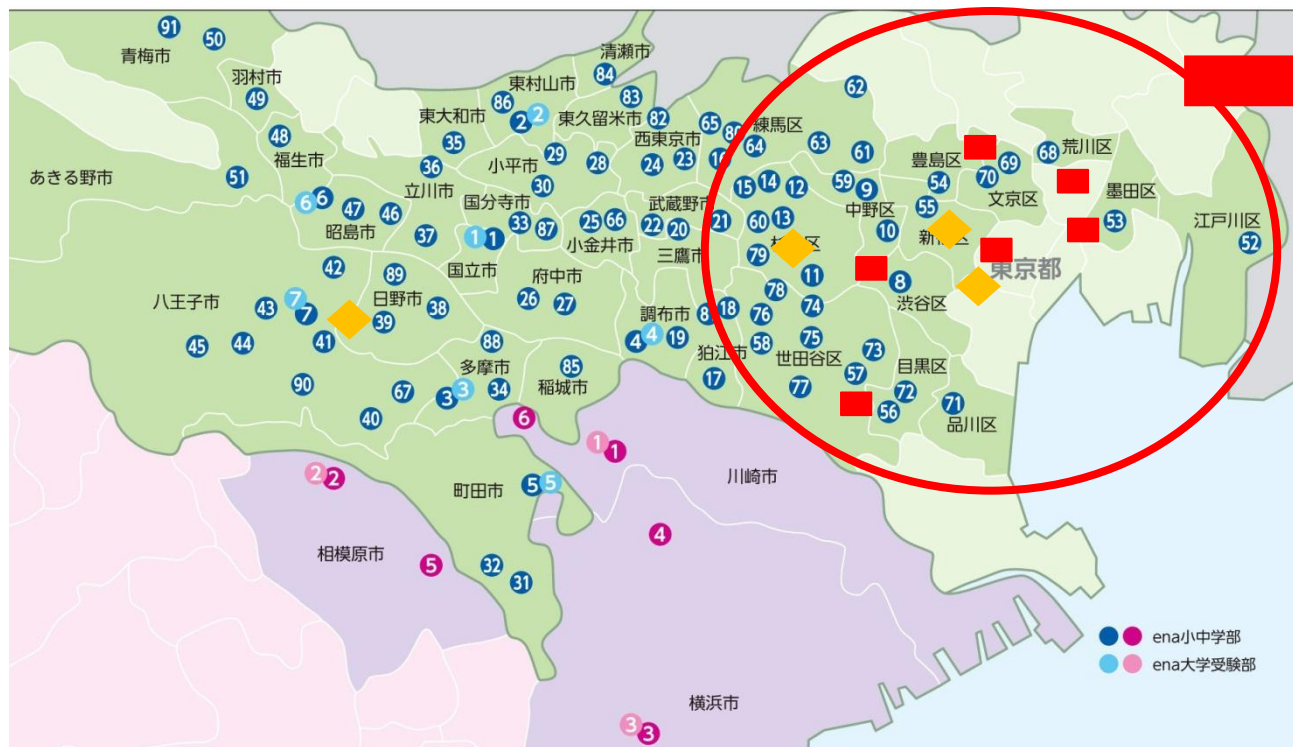


引き続き東京都を中心に出校を拡大し、生徒数シェア及び都立中・高入試を中心とする合格実績シェアをさらに高めていく。

1. 都立中・高合格者シェアの向上
2. 大学受験までの一貫した経営モデルの確立
3. 新規校舎展開
4. 人的資産の充実
5. その他施策

1. 都立中・高合格者シェアの向上

⇒No.1を獲得していない都立中・高の強化。



今後の積極開校
予定エリア

当社がNo.1を獲得していない都立中高一貫校(■)、都立難関高校(◆)、ena校舎の出校状況。(平成24年3月31日現在)

2. 大学受験までの一貫した経営モデルの確立

不合格になった生徒のフォロー⇒
①3年後の再挑戦のための指導強化
②中1無料施策

3. 新規校舎展開

東京都を中心に、年間15～20校を開校。

4. 人的資産の充実

校長候補を中心に年間30名程度の採用。研修の充実。

5. その他

①M&Aの活用

(教育事業に特化、当社の経営理念と合致する案件については積極的に検討)

②インターエデュ事業の拡大

□ 配当について

平成21年3月期	期末	20円
平成22年3月期	第2四半期末	10円、期末 30円
平成23年3月期	期末	30円
平成24年3月期	期末	40円
平成25年3月期	期末	40円(予想)

□ 利益配当の基本方針

長期にわたる安定基盤の確立に努めるとともに、株主の皆様への継続的かつ安定的配当を維持し、利益還元を強化してまいります。

本資料に掲載されている株式会社学究社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報から株式会社学究社の経営者の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。